

◇4月の代祷・信施奉献先
▽エルサレム教区のため
(受苦日15日)▽つきしま
キッズデイ▽児童養護施設
のため▽月島聖ルカ保育園
のため

◇人事

司祭 セラピム 高橋 顕

治療の必要を認め、4月1日
より三か月の休養を命じ、教
区事務所総主事の任を解く

◇主教按手式及び北海道教区
主教着任式

日時・4月23日(土) 10時

場所・北海道教区主教座聖堂

札幌キリスト教会

司式・武藤 謙一 主教

説教・五十嵐 正司 主教

北海道教区主教に笹森田鶴

主教被選者が按手されます。

新型コロナウイルスによる感
染症の為、式の参加者は限定
された方での式になります。
これからの北海道教区と笹森

主教被選者の働きの上に神さ
まの見守りとみ恵みがありま
すようお願いください。

ライブ配信 <https://sites.google.com/view/mgs/st/live>

▽じんけん瓦版発行

「じんけん瓦版 第78号」を
発行しました。

教区ホームページに掲載
しましたので、どうぞご覧
ください。スマホやパソコ
ンが苦手な方向けに、これ
まで通り印刷したのものも相
当数配布していますので、
各教会のアッシャーの方に
お申し出ください。今後、
ペーパーレス化に取り組ん
でまいります。

東京教区人権委員会

◆教役者レクイエム(参列者
限定)

日時・4月20日(水) 10時半

場所・聖アンデレ主教座聖堂

説教者・高橋 宏幸 主教

説教者・高橋 宏幸 主教

▽司祭 落合 吉之助▽司祭 稲
垣 陽一郎▽主教 ジョン マキ
ム▽主教 上田 一良▽司祭 田
井 正一▽司祭 大藤 三郎▽
司祭 大木 弘行▽司祭 大野
敏之▽司祭 松原 喜七▽執事
八木 立三▽主教 大久保 直彦
▽司祭 中島 修▽伝道師 織
間 小太郎▽司祭 木村 信一▽
司祭 島田 忠雄▽主教 元田
作之進▽司祭 山口 信太郎▽
司祭 伊勢 恭哉▽伝道師 ヘレ
ン ボイド▽伝道師 安枝 武雄
▽司祭 早川 喜四郎▽主教 時
田 誠▽伝道師 鈴木 繁子▽司

祭 小林 彦五郎▽伝道師 齊藤
伊佐子▽伝道師 後藤 房蔵
*聖アンデレ教会HPより
ライブ配信します (<http://www.st-andrew-tokyo.com/>
web)

今週・来週の予定	
4月17日~30日	
17 (日)	復活日
19 (火)	礼拝音楽委員会 (web) 広報委員会 (web)
20 (水)	教役者レクイエム (動画配信) 北関東・東京教区合同財政小委 員会 (web)
22 (金)	人権委員会 (web)
23 (土)	北海道教区主教按手式 (動画配信)
24 (日)	復活節第2主日
26 (火)	信仰と生活委員会 (web)
27 (水)	資料保全委員会
28 (木)	聖職養成委員会 (web)

【イースターメッセージ】

「甦りのいのちに与りながら」

2022年4月17日

東京教区主教

フランシスコ・ザビエル

高橋 宏幸

十 イエス様の甦りを感じ、お祝い申し上げます

「週の初めの日の明け方早

く、準備しておいた香料を

持つて墓に行った」と、福音

書にあります。婦人たちがお

墓へと急いだのは、今は亡き

過去の方となった、そして、

それ以外には考えようのない

イエス様の葬りの備えのため

でした。ところが、そこにあ

るはずのご遺体が見つからず

途方に暮れていると、輝く衣

を着た二人の人が現れ、言い

ます。「なぜ、生きておられ

る方を死者の中に捜すのか。

あの方は、ここにはおられな

い。復活なさったのだ。まだ

ガリラヤにおられたころ、お

話しになったことを思い出し

なさい。人の子は必ず、罪人

の手に渡され、十字架につけ

られ、三日目に復活すること

になっている、と言われたで

はないか」と。婦人たちはイ

エス様の言葉を思い出します

が、簡単にはイエス様の甦り

を信じることはできなかつた

ことでしょう。

けれども婦人たちは、「こ

こにはおられない」という言

葉を受けてあちこち探し回り

はせず、反対に「ここ」だけ

に注目して「イエス様が消え

た、ご遺体が無い」と騒ぎ立

てもしませんでした。もしそ

うしていたなら、「結局は甦

りなどあり得ないことだ」で

終わってしまったことではし

ょう。しかし、婦人たちはイエ

ス様の言葉を思い出し、イエ

ス様の言葉に心を添わせ、自

らをコミットさせました。

さらに、福音書はこうも

書き残しました。「あなたが

たより先にガリラヤに行か

れる。そこでお目にかかれ

る」と。そのお告げを聞いた

婦人たちは、恐れながら

も大いに喜び、急いで墓を

立ち去り、天使の「お目に

かかれる」という言葉を心

に深く刻み込んで弟子たち

に知らせるために走って行

きました。ともすると、ど

のように甦えられたのかと

いうほうに関心が向きがち

ですが、本当に大切なこと

はイエス様にお目にかかる、

それ以上にイエス様のほう

から出会うてくださるとい

うことです。しかも、お目

にかかるとはちらつと見た

とか、通りすがりに見たの

ではなく、相見えた、しっ

かり向き合い始めたという

ことです。福音書に登場す

る多くの人たちは、イエス

様に向き合い、向き合っ

ただくことを通して人生

に大きな転換が起こったり、

神様に造られ、いのちの息

吹を注ぎ込まれた本来の自

分を取り戻したりしました。

また、福音書は「あの方は、

あなたがたより先にガリラヤ

へ行かれる。そこでお目にか

かれる」と、今も私たちに伝

えてくれています。そのガリ

ラヤとは、かつて弟子たちが

イエス様に出会い、イエス様

から出会うていただき、お召

しに与り、神様のいのちの内

に第一歩を踏み出した所であ

り原点であり、今度は甦りの

イエス様との出会いが備えら

れ、待ち受けている所です。

このガリラヤに例えられる原

点は私たちにも備えられてい

ます。不安の絶えない世の中

ですが、甦りの恵みと力に与

り、日々新たに歩み続けてい

くことができるよう祈り合

たいと思います。

また、ウクライナでの悲惨

な状況に置かれている方が

た、未だ不安の拭えないコロ

ナウイルス感染症に苦しむ方

がた、医療に献身、従事して

おられる方がたのために祈り

続けます。

神様の御恩寵の内に、主イ

エス・キリストの甦りの時を

迎えられますように。